

平成30年度 沖縄市の 市税の使いみち



うんじゅなーが納めてーる

「じえいきん！」

かなとーいびーん！



コザミュージックタウン



沖縄市エイサーキャラクター
エイ坊



沖 縄 市

はじめに

I 市税の収入について

- | | | | |
|---|---------|-------|--------|
| 1 | 市税の徴収状況 | | 1ページ |
| 2 | 市税の推移 | | 2～3ページ |

II 市税の使いみち（目的別歳出決算Ver.）

- | | | | |
|---|--------------|-------|------|
| 1 | 目的別歳出決算内訳 | | 4ページ |
| 2 | 市税の支出先 | | 5ページ |
| 3 | 目的別歳出決算財源の内訳 | | 6ページ |

III 市税の使いみち（性質別歳出決算Ver.）

- | | | | |
|---|--------------|-------|----------|
| 1 | 性質別歳出決算内訳 | | 7ページ |
| 2 | 人件費 支出詳細 | | 8ページ |
| 3 | 扶助費 支出詳細 | | 9～10ページ |
| 4 | 普通建設事業費 支出詳細 | | 11～12ページ |
| 5 | 物件費 支出詳細 | | 13～14ページ |
| 6 | 補助費 支出詳細 | | 15ページ |
| 7 | 繰出金 支出詳細 | | 15ページ |
| 8 | 公債費 支出詳細 | | 16ページ |
| 9 | 積立金 支出詳細 | | 17ページ |

IV 特集～沖縄振興特別推進市町村交付金について～

- | | | | |
|---|-------------|-------|-------|
| 1 | 観光の振興 | | 18ページ |
| 2 | こどものまち推進 | | 19ページ |
| 3 | 安全・安心なまちづくり | | 19ページ |
| 4 | 産業の振興 | | 20ページ |
| 5 | その他の特殊事情 | | 20ページ |

V データ編

- | | | | |
|---|---------------------|-------|-------|
| 1 | 平成30年度決算データ一覧 | | 21ページ |
| 2 | 一般会計歳入 10年間の推移 | | 22ページ |
| 3 | 一般会計歳出（目的別） 10年間の推移 | ... | 23ページ |
| 4 | 一般会計歳出（性質別） 10年間の推移 | ... | 24ページ |

◆ はじめに ◆

みなさまが安全・安心に暮らしていくためには、医療・介護などの社会保障や学校教育、ごみの収集や道路・公園の整備など、国や県、市町村が行う公的サービスが欠かせません。

それらの公的サービスの運営には多大な費用がかかりますが、みなさまにはその費用を税金という形で負担していただいております。

その中でも『市税』は、市民のみなさまから直接市に納めていただいている税金であり、市民一人ひとりの生活を支える大変重要な財源であると言えます。

そのような事から『市税』については、市全体でその内容を理解し、市民のみなさまには正しく納税していただき、市役所が適切に市民に還元していくことがとても大切です。

本冊子は、平成30年度の決算に基づき、市民の皆さまから納めていただいた市税について、その収入と支出の内容を説明する資料として作成しております。

市民のみなさまには、本冊子をご覧いただき、正しい納税と、沖縄市が行うまちづくりへのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



沖縄市エイサーキャラクター
さーちゃん

ゆたしく
うにげえー
さびら ♪

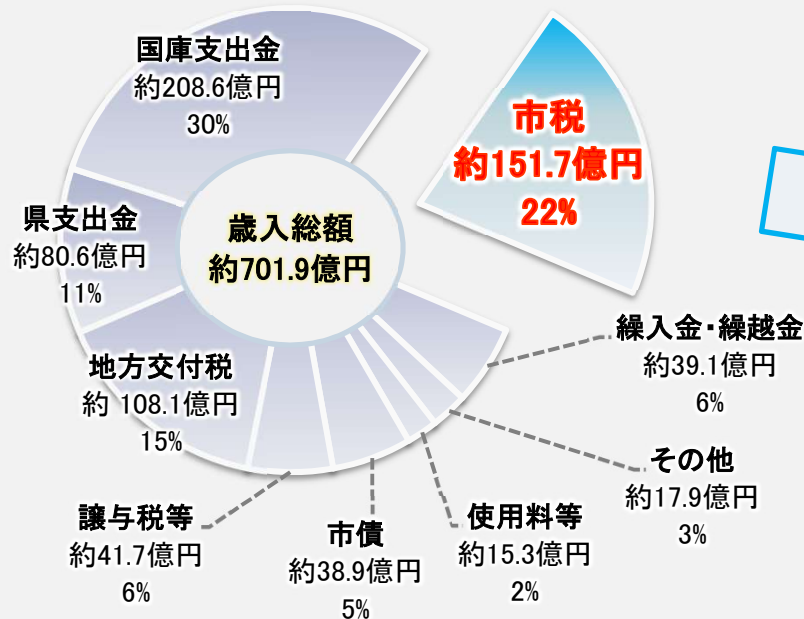
I 市税の収入について



平成30年度の沖縄市の収入が**約701.9億円**でした。
そのうち、市民のみなさまに納めていただいた市税の
決算額は**約151.7億円**でした。これを市民一人当たり*1にすると、
約106,823円納めていただいたことになります。

*1 人口は平成31年4月1日時点の人口(142,027人)を基準にしています。

平成30年度一般会計歳入決算内訳



市税の内訳は？

◆個人市民税

市内にお住まいの方に所得に応じて納めていただきました。

◆法人市民税

市内の会社(法人)の業種や規模に応じて納めていただきました。

◆固定資産税

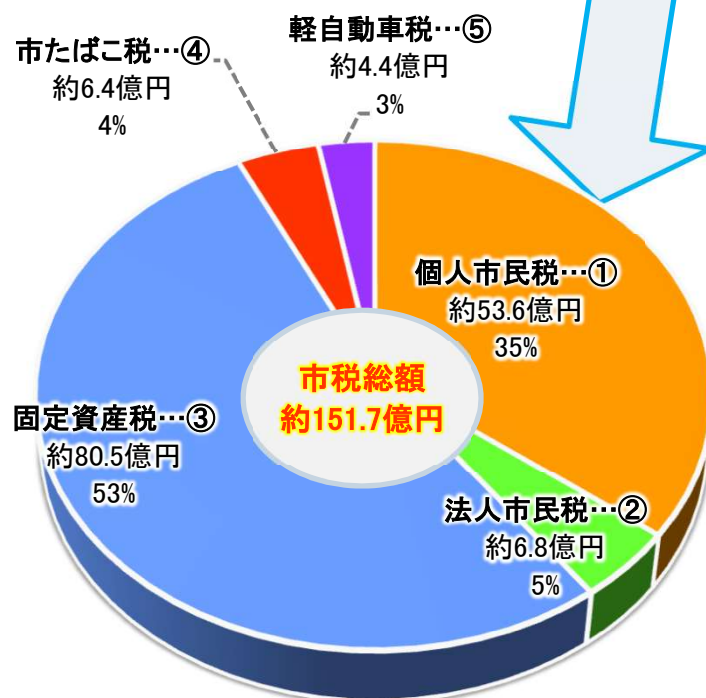
土地や家、マンションなどを持っている方に納めていただきました。

◆市たばこ税

卸業者が沖縄市のたばこ小売業者に売った際にかかる税です。

◆軽自動車税

軽自動車を所有する方に納めていただきました。

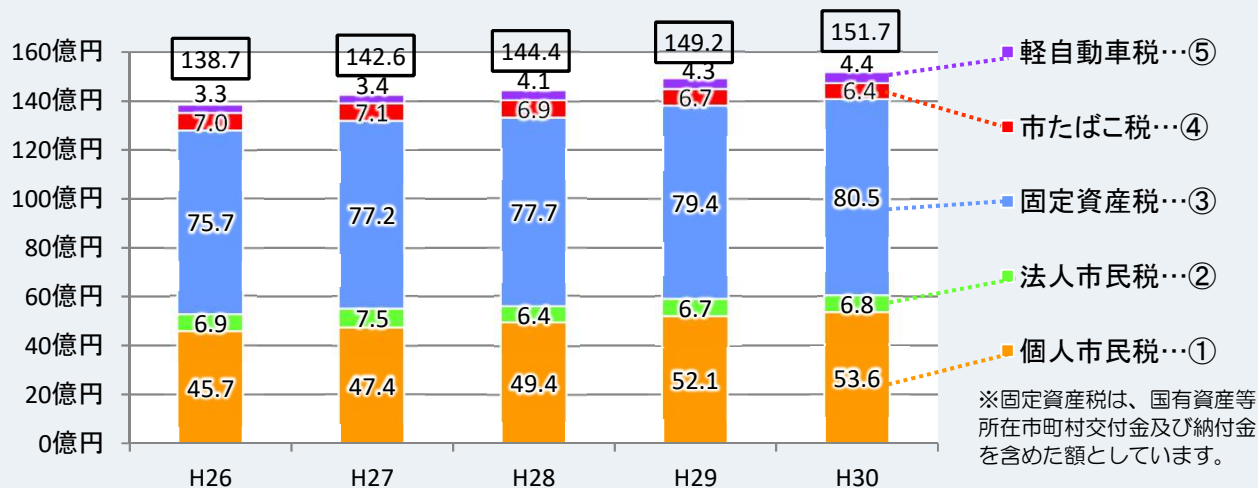


沖縄市の市税の過去5年間の推移です。
徴収額、徴収率ともに増加傾向にあり、市税は本市の財政運営において、非常に重要な財源となっております。



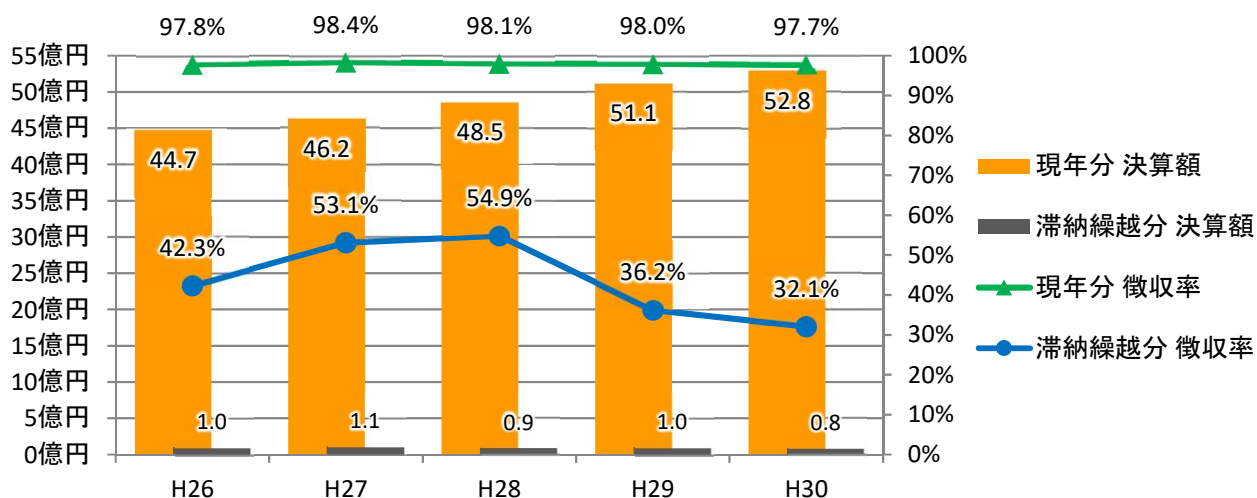
市税の決算推移(H26～H30)

(単位: 億円)



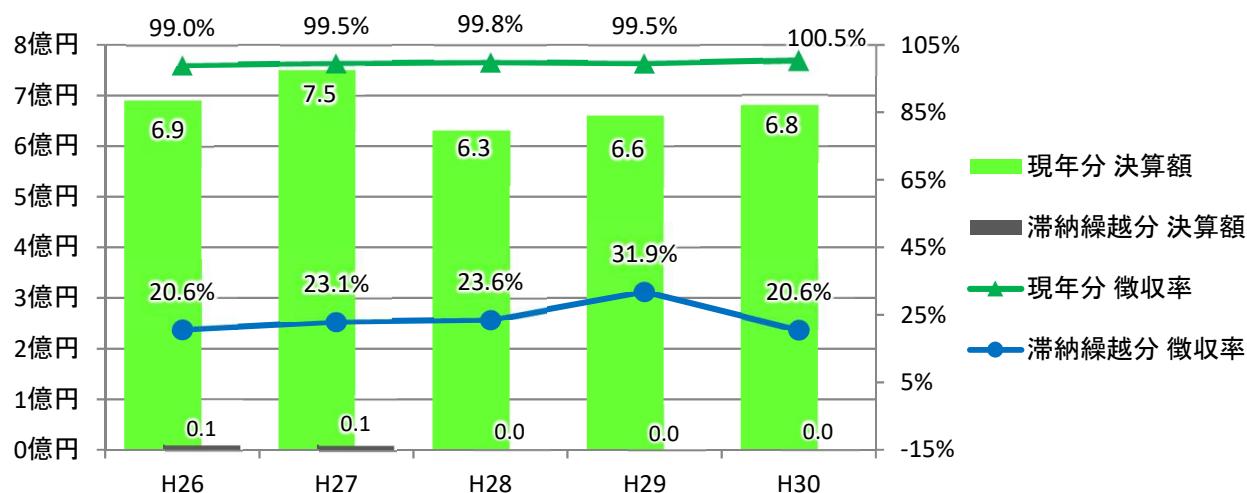
① 個人市民税の推移(H26～H30)

(単位: 億円)



② 法人市民税の推移(H26～H30)

(単位: 億円)



※端数の関係により表間の数値が一致しない場合があります。

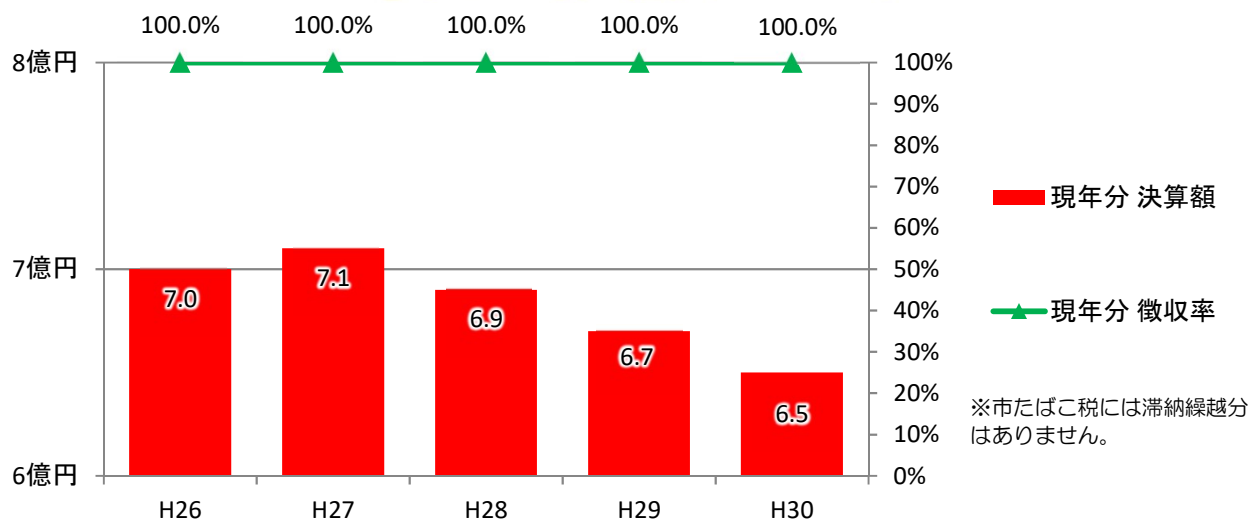
③固定資産税の推移(H26～H30)

(単位:億円)



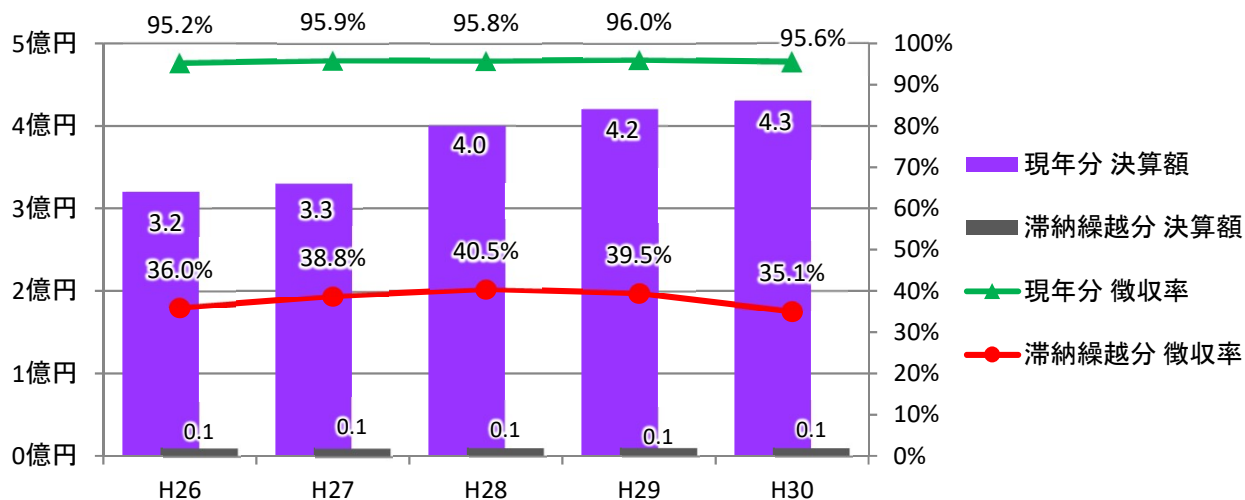
④市たばこ税の推移(H26～H30)

(単位:億円)



⑤軽自動車税の推移(H26～H30)

(単位:億円)



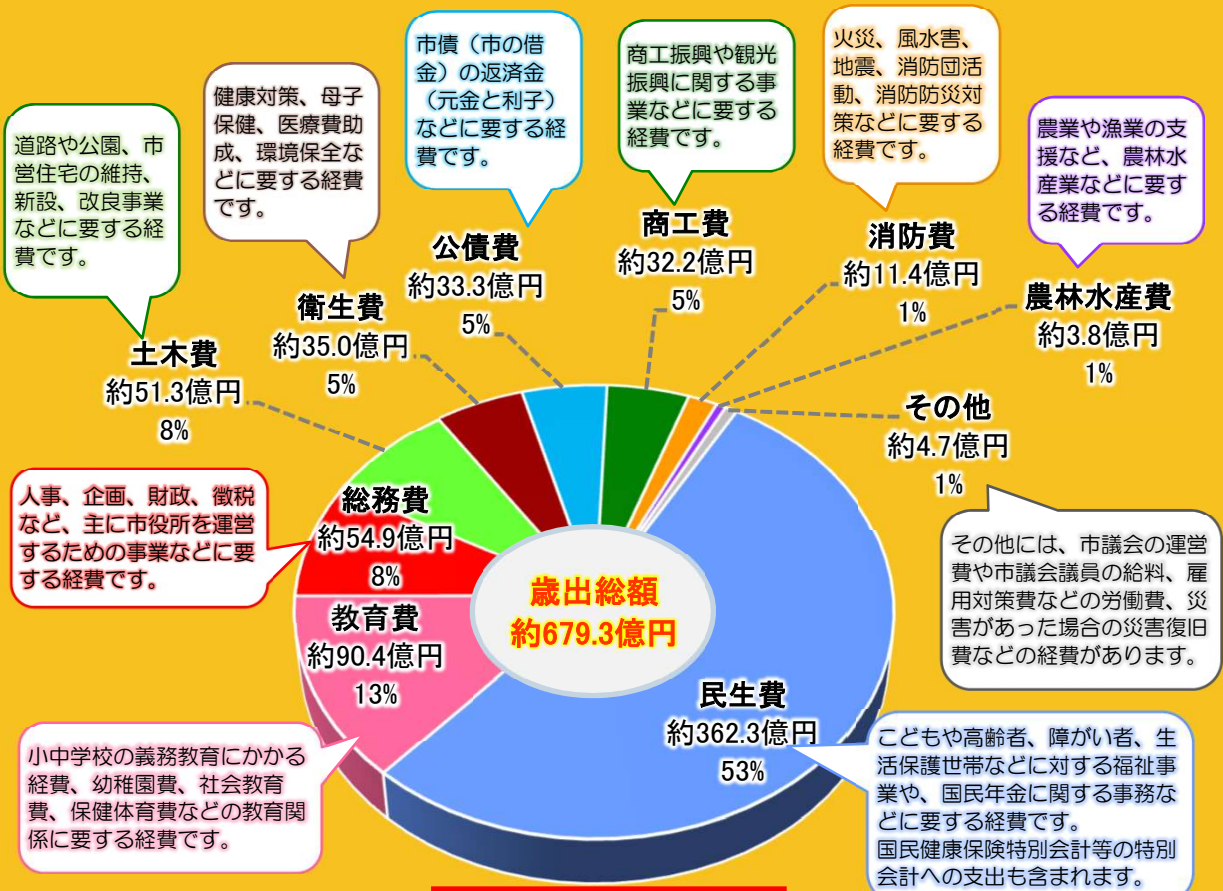
※端数の関係により表間の数値が一致しない場合があります。

Ⅱ 市税の使いみち（目的別歳出決算VER.）



平成30年度の沖縄市一般会計歳出決算額は**約679.3億円**でした。それを市民一人当たりで換算すると**約478,318円**になります。歳出決算額を目的別でみると、一番多い歳出は民生費で**約362.3億円**となっており、全体の53%を占めています。

平成30年度一般会計歳出決算（目的別）内訳



目的別歳出決算を
市民一人当たりで
換算すると...

民生費 255,061円

教育費 63,656円

総務費 38,678円

土木費 36,107円

衛生費 24,639円

公債費 23,486円

商工費 22,642円

消防費 8,022円

農林水産費 2,705円

その他 3,322円

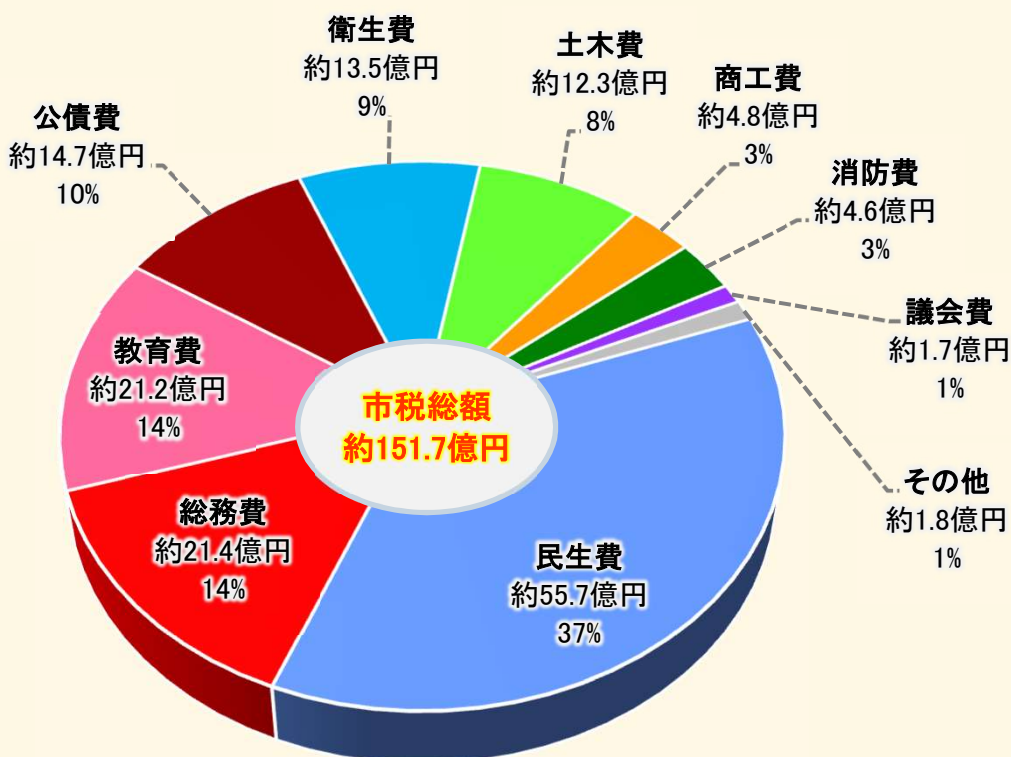
合 計
478,318円

※各金額とも、市民一人当たりで換算した歳出金額です。平成31年4月1日時点の人口（142,027人）を基準としています。

平成30年度に、市民のみなさまに納めていただいた市税
約151.7億円の使いみちは、次のとおりとなりました。
 歳出決算額と同様に民生費が一番多く、**約55.7億円**の市税
 が活用されています。



目的別歳出からみる市税の支出先



市税の使いみちを
 市民一人当たり
 に換算すると...

民生費 39,223円

総務費 15,089円

教育費 14,919円

公債費 10,369円

衛生費 9,537円

土木費 8,680円

商工費 3,389円

消防費 3,225円

議会費 1,171円

その他 1,221円

合 計
106,823円

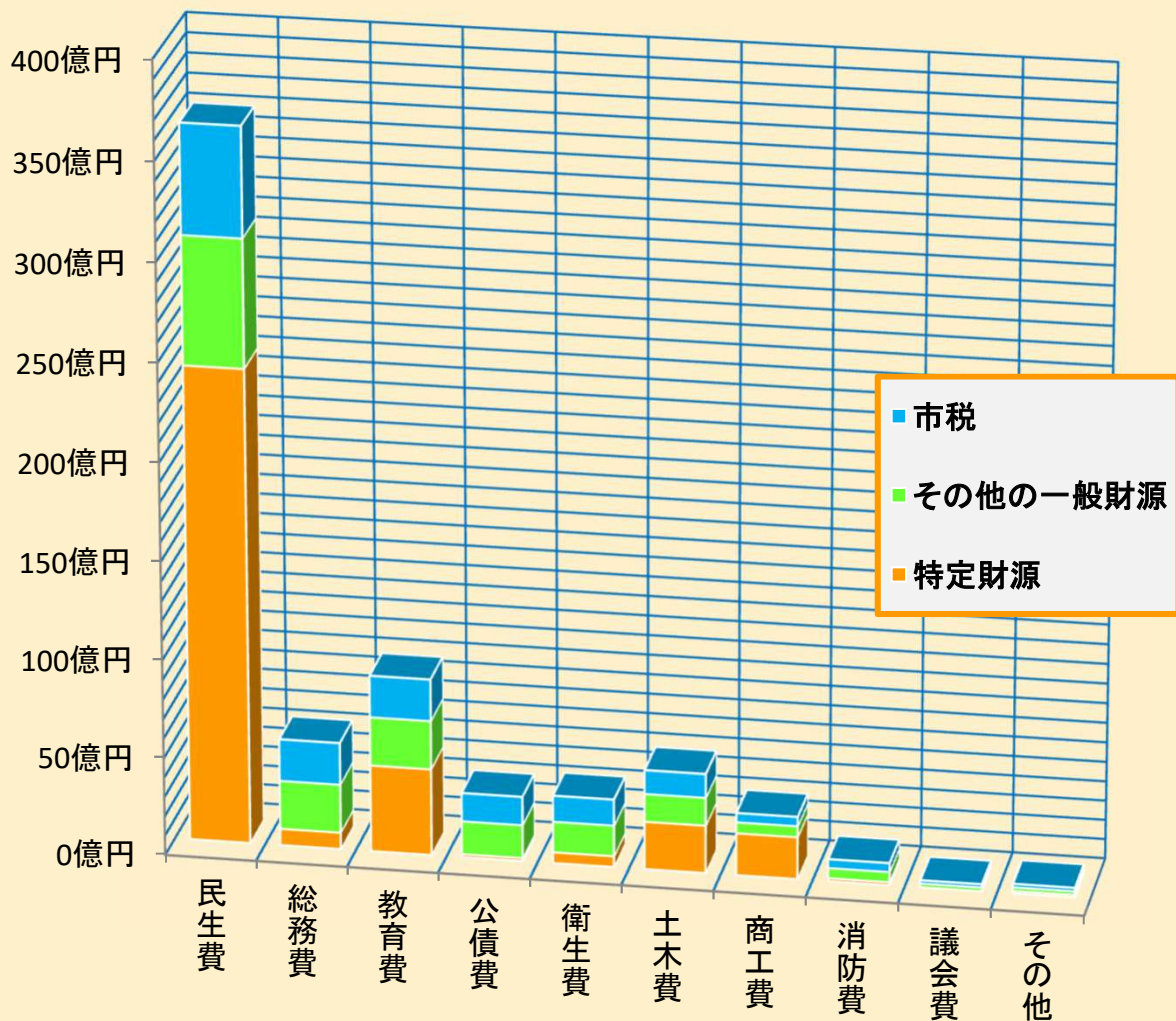


※各金額とも、市民一人当たり換算した歳出金額です。平成31年4月1日時点の人口(142,027人)を基準としています。

市税以外の財源って、何があるんだろう・・・？



一般会計歳出決算(目的別) 財源の内訳



グラフからわかるように、市の歳出のうち、市税で賄っている部分は全体の2割前後となっています。

財源は、使いみちが決められている特定財源と、使いみちが決められていない一般財源に区分できますが、市税は一般財源に区分されます。

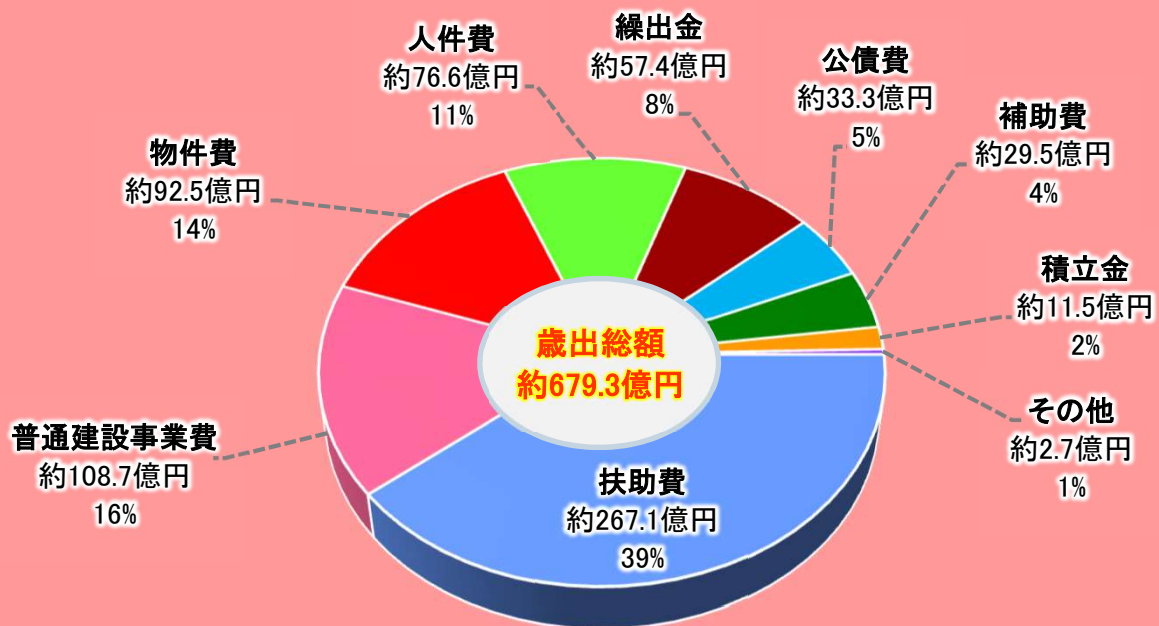
特定財源には、国や県からの補助金・負担金などがあり、市税以外のその他の一般財源には、自治体の財政状況に応じて国から交付される地方交付税などがあります。



Ⅲ 市税の使いみち（性質別歳出決算**VER.**）

平成30年度の決算額を性質別でみると、一番多い歳出は扶助費で**約267.1億円**となっており、全体の39%を占めています。また、市民一人当たりに換算すると、**188,062円**となります。

平成30年度一般会計歳出決算（性質別） 内訳



性質別歳出決算を
市民一人当たりに
換算すると…

扶助費 188,062円

普通建設事業費 76,531円

物件費 65,146円

人件費 53,907円

繰出金 40,388円

公債費 23,486円

補助費 20,809円

積立金 8,117円

その他 1,872円



合 計
478,318円

※各金額とも、市民一人当たりに換算した歳出金額です。平成31年4月1日時点の人口（142,027人）を基準としています。

性質別歳出の詳しい内容を、次のページから説明します♪

人件費

人件費は、市の職員や議員、各種委員に支払う給料や報酬などにかかる経費です。

平成30年度は約76.6億円を支出しました。

(金額のうち市税の占める割合：約32.5億円)

人件費のうち職員給は、約46.5億円でした。一般会計の職員数は、平成31年4月1日現在で882人です。職員一人当たりに対する市民は約161人です。

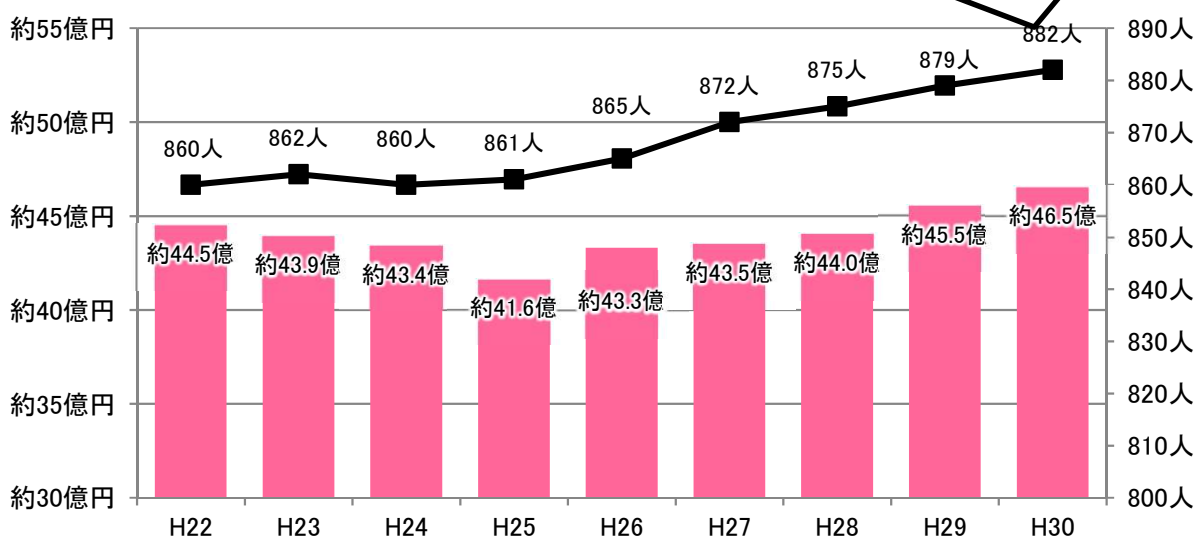
※特別会計にかかる人件費は、繰出金として支出しています。

※教育公務員の人件費は普通会計で支出しているため含めています。

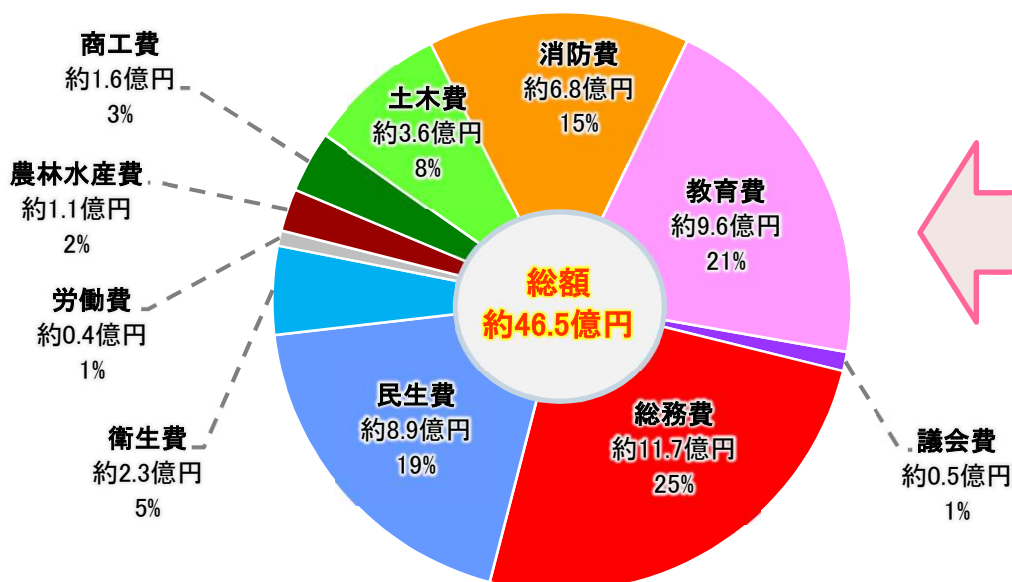
市民1人当たり
が納めた市税
106,823円のうち
約22,854円が
使われました。

◎職員給与と職員数の推移

8年前と比較して職員数が22人、
職員給は2.0億円増えています。



平成30年度目的別職員給の内訳



内訳を目的別に見ると？

扶助費

扶助費は、市民のみなさまの医療や福祉など、社会保障にかかる経費です。

平成30年度は**約267.1億円**を支出しました。

(金額のうち市税の占める割合：**約31.4億円**)

◎ 扶助費の主な支出内容

子どもの福祉のために

保育園での子育て支援
(市立含まず)

約59.6億円

※市立保育所の管理運営費はP13
の物件費になります。

法人保育園 **51園**
地域型保育施設 **15園**
認可外保育園 **43園**

市民1人当たり
が納めた市税
106,823円のうち
約22,115円が
使われました。

児童手当受給者数
12,124人
対象：**0歳から**
中学校卒業まで

子育ての経済的支援

(児童手当、児童扶養手当、
要・準要保護児童の援助費
及び給食費の支給など)

約52.1億円

子どもやひとり親家庭
の医療費負担軽減

(乳幼児・母子父子要保護及び
準要保護等の医療費助成)

約4.1億円

障がいのある方の 福祉のために

介護や援助、自立のために
必要なサービスの提供
及び

障がいのある方への
経済的な支援

(移動支援費、自立支援医療費等、障
害福祉サービス費、障害児通所給付
費、
重度心身障がい者医療費助成金、
特別障害者手当等給付費)

約63.5億円

高齢者の福祉 のために

老人ホームへの
入所措置費

約0.2億円

住宅設備改修や低所
得者への負担軽減

約387万円

※高齢者の医療と介護保険については、
特別会計で事業を実施しています。

生活にお困りの方 のために

生活保護費等の支給

(生活保護費、進学準備給付金、
住居確保給付金)

約87.5億円

被保護世帯数 4,091世帯
被保護者数 5,271人

扶助費

扶助費は、市民のみなさまの医療や福祉など、社会保障にかかる経費です。

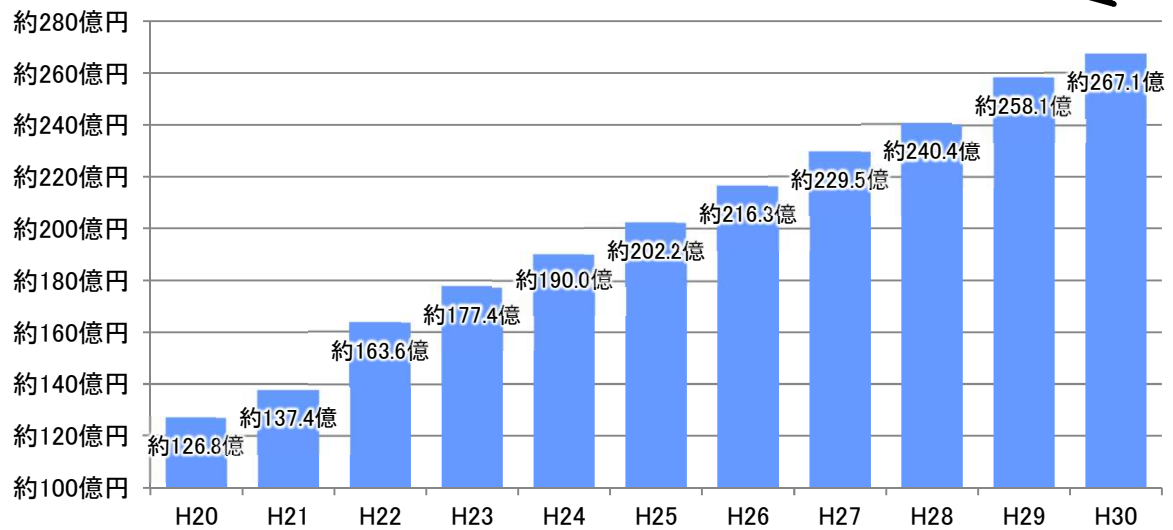
平成30年度は**約267.1億円**を支出しました。

(金額のうち市税の占める割合：**約31.4億円**)

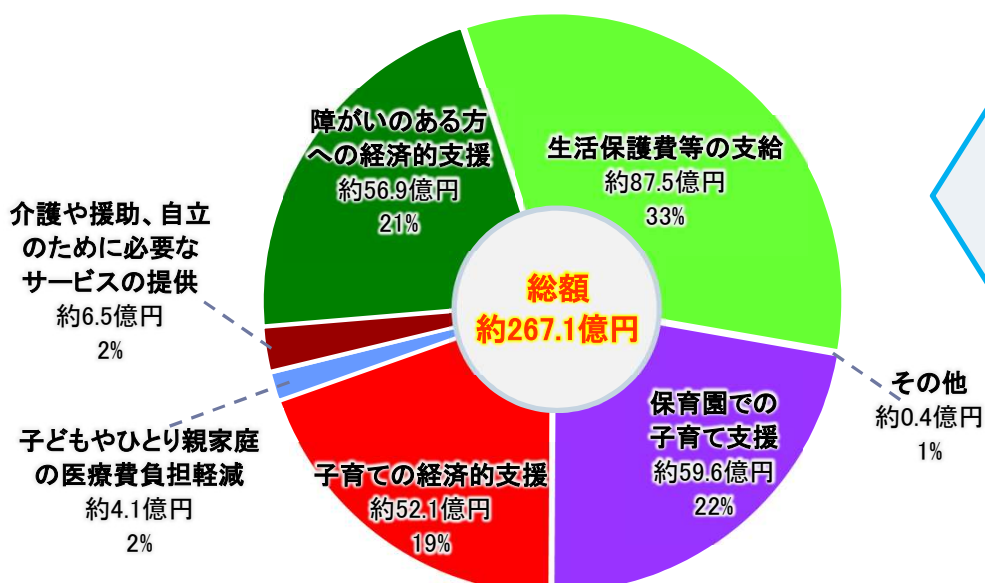
◎扶助費の推移

10年前と比較して扶助費が**約140.3億円**増えており、**約2.1倍**となっています。

扶助費



平成30年度支出内容別扶助費の内訳



内訳を支出内容別に見ると？

普通建設
事業費

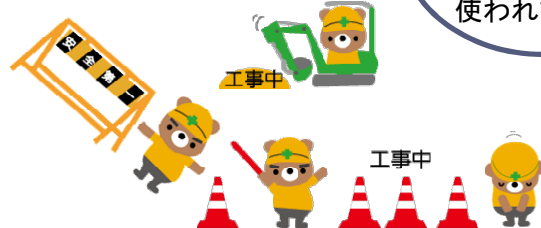
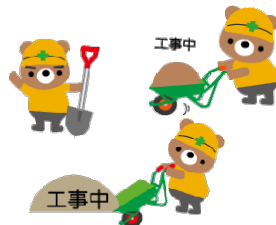
普通建設事業費は、市の建物や道路、公園などの整備にかかる経費です。

平成30年度は約108.7億円を支出しました。

(金額のうち市税の占める割合：約5.6億円)

市民1人当たり
が納めた市税
106,823円のうち
約3,961円が
使われました。

◎ 普通建設事業費の主な支出内容



公園整備事業
市北部地区公園など
平成30年度執行額：約1.9億円



市営住宅建替事業
安慶田市営住宅、泡瀬市営住宅
平成30年度執行額：約13.5億円

多目的アリーナ整備事業
平成30年度執行額：約17.5億円



幼稚園・小中学校校舎新增改築事業
安慶田幼稚園、美東小学校、美東中学校
平成30年度執行額：約30.8億円



公立・私立保育所施設整備事業
平成30年度執行額：約11.3億円

沖縄こどもの国整備事業
平成30年度執行額：約7.5億円

普通建設事業費

普通建設事業費は、市の建物や道路、公園などの整備にかかる経費です。

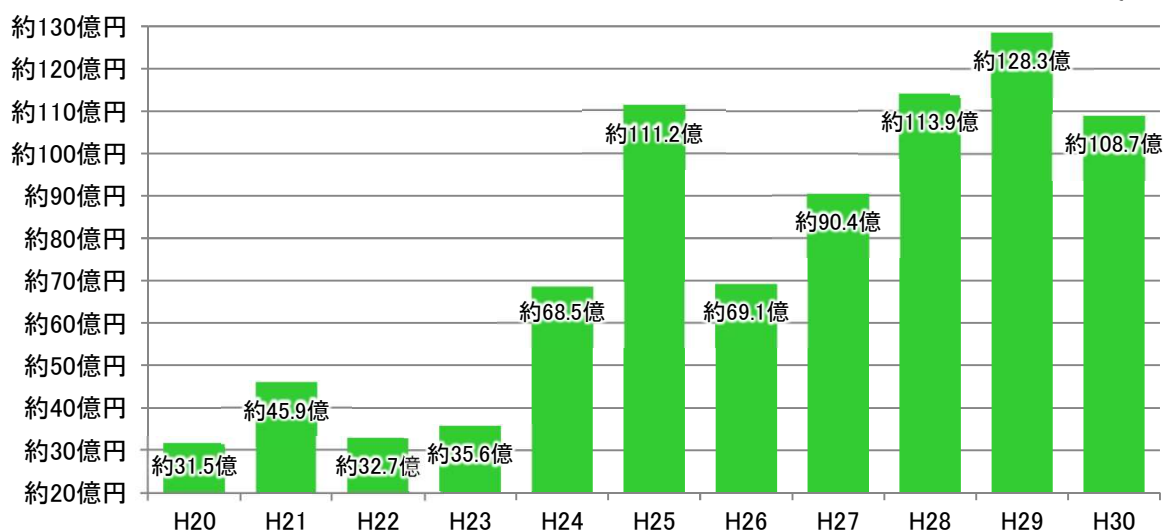
平成30年度は**約108.7億円**を支出しました。

(金額のうち市税の占める割合：**約5.6億円**)

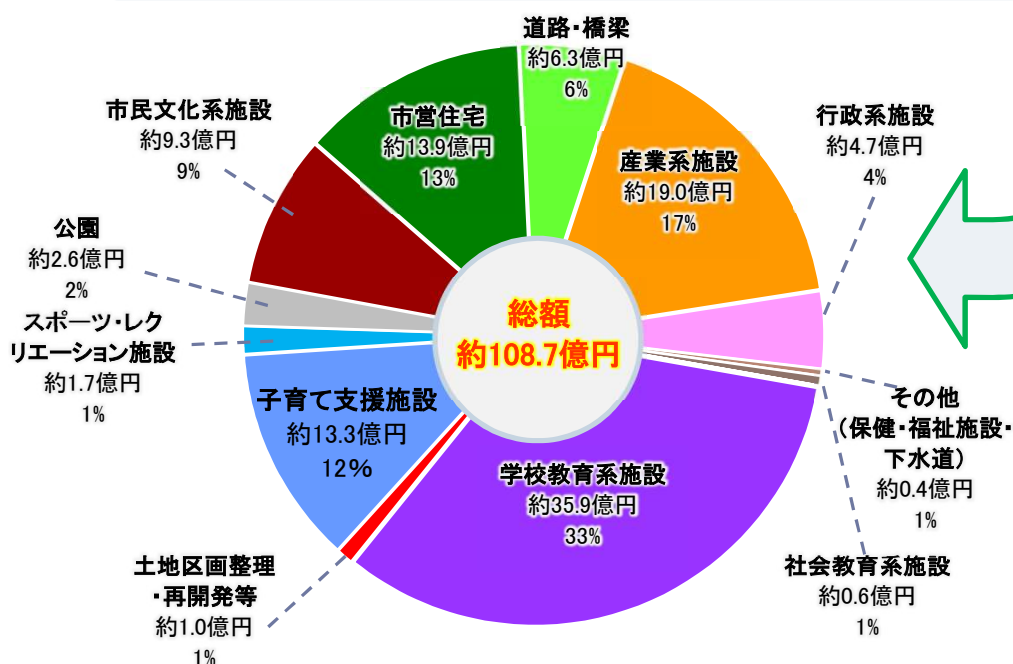
◎普通建設事業費の推移

10年前と比較して普通建設事業費が**約77.2億円**増えており、**約3.5倍**となっています。

普通建設事業費



平成30年度施設類型別普通建設事業費の内訳



内訳を施設類型別に見ると？

※施設類型は、「沖縄市公共施設等総合管理計画」の施設類型に準じて分類しています。

物件費

物件費は、公共施設の管理運営や様々な公共サービスにかかる経費です。

平成30年度は**約92.5億円**を支出しました。

(金額のうち市税の占める割合：**約30.5億円**)

市民1人当たり
が納めた市税
106,823円のうち
約21,497円が
使われました。

◎ 物件費の主な支出内容

幼稚園や小中学校の管理運営

小学校数**16校**

児童数**9,747人**

中学校数**8校**

生徒数 **4,800人**

〔学校基本調査より
平成30年5月1日時点〕

小学校の管理運営

約4.7億円

中学校の管理運営

約3.4億円

幼稚園の管理運営

約3.2億円

学校給食の管理運営

約1.7億円

道路の管理

約2.4億円

公園の管理

約2.3億円

市内**92公園**

〔公共施設状況調査より
平成31年3月31日時点〕

消防施設の
管理運営

約0.6億円

ごみの収集

約5.6億円

健康診断など

約9.2億円

子育て支援施設
の管理運営

児童館や放課後児童クラ
ブの管理運営

約0.6億円

市立保育所の管理運営

約1.8億円

福祉の運営

障がい者の福祉

約1.5億円

高齢者の福祉

約0.1億円

その他の施設の管理運営

総合運動場の管理運営

約1.5億円

文化・教育施設の管理運営

約3.1億円

経済・産業施設の管理運営

約3.7億円

市役所庁舎の管理運営

約2.9億円

その他(こどもの国等)

約4.8億円

事務費等に
は…

職員代替補充費、事務(管理)費

約6.9億円

物件費

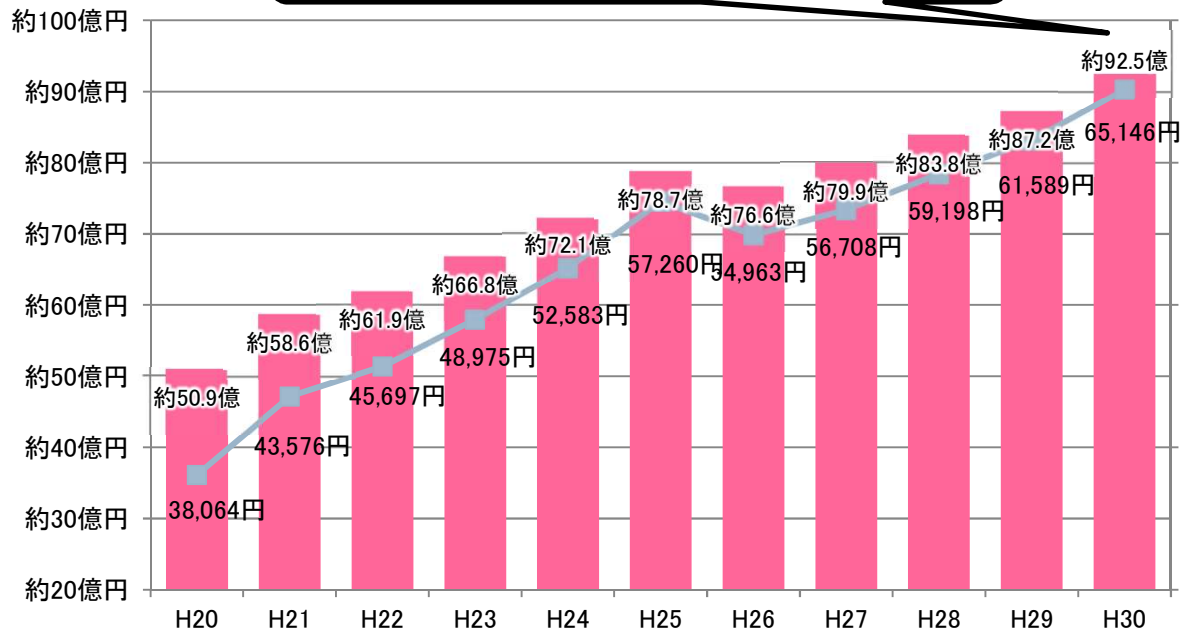
物件費は、公共施設の管理運営や様々な公共サービスにかかる経費です。

平成30年度は**約92.5億円**を支出しました。

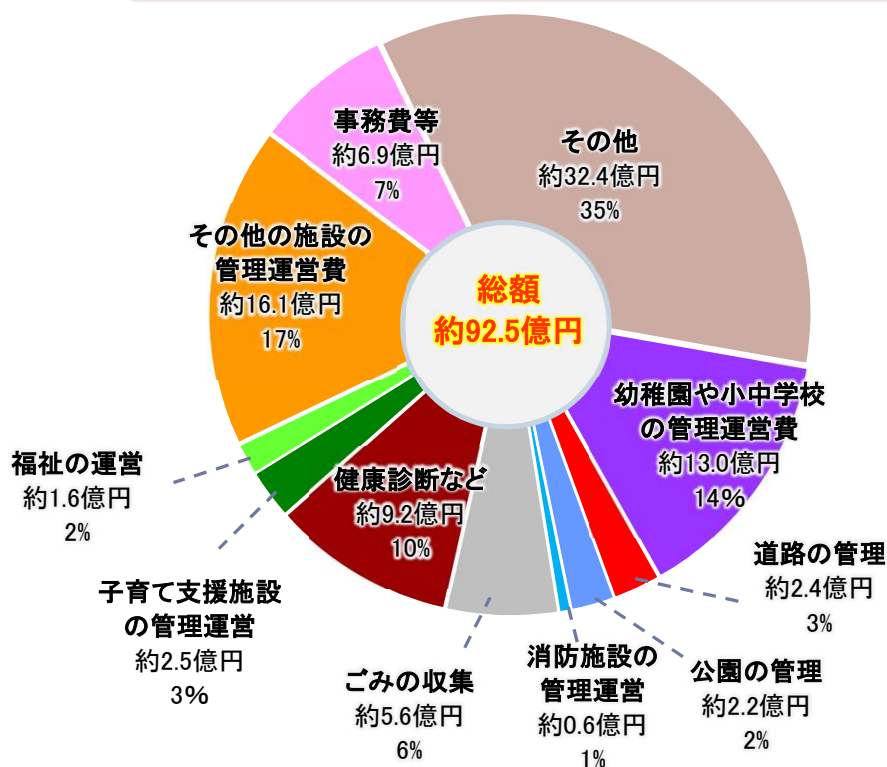
(金額のうち市税の占める割合：**約30.5億円**)

◎物件費の推移

10年前と比較して物件費が**約41.6億円**増えており、**約1.8倍**となっています。



平成30年度支出内容別物件費の内訳



内訳を支出内容別に見ると？

補助費

補助費は、他組織への補助や特定の事業への支援等にかかる経費です。

平成30年度は**約29.6億円**を支出しました。

(金額のうち市税の占める割合：**約10.7億円**)

市民1人当たり
が納めた市税
106,823円のうち
約7,527円が
使われました。

◎ 補助費の主な支出内容

各種イベントの開催支援

(沖縄全島エイサーまつり、国際カーニバル、
福祉まつり、産業まつり、工芸フェア、
ピースフルラブ・ロックフェスティバル等)

約0.8億円

倉浜衛生施設組合への負担金

(ゴミ処理、し尿処理)

約10.5億円

その他には…

住宅リフォーム支援、
各種団体への負担金や事業補助など

約15.0億円

各種団体の運営補助

約3.3億円

繰出金

繰出金は、一般会計から特別会計等への支出にかかる経費です。

平成30年度は**約57.4億円**を支出しました。

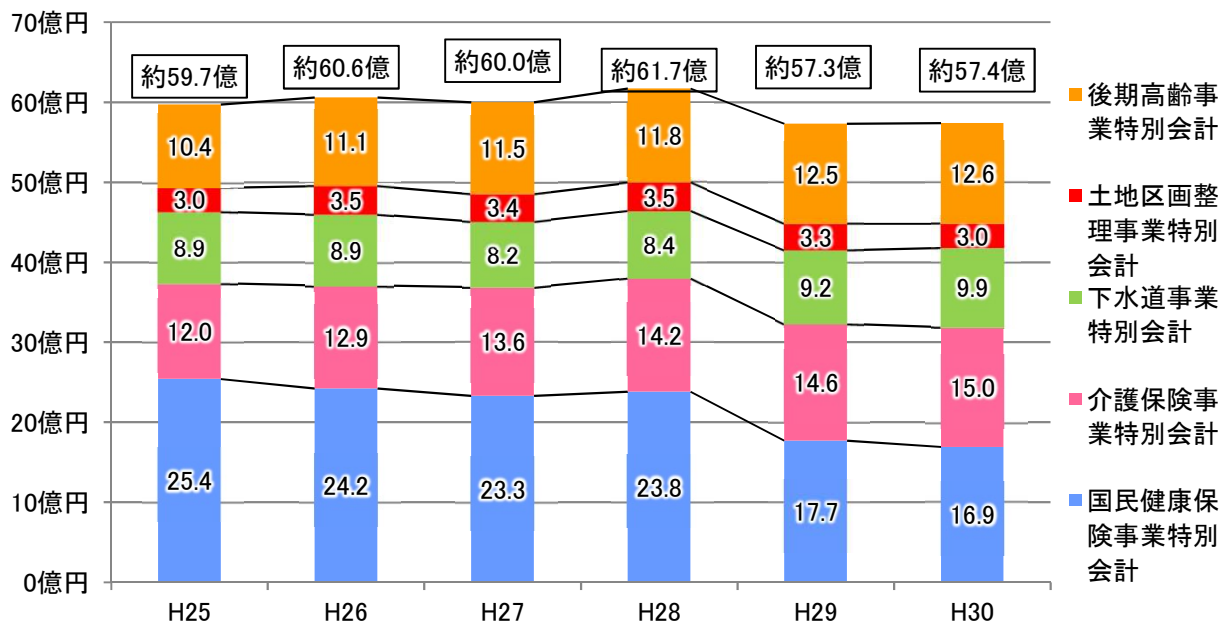
(金額のうち市税の占める割合：**約20.5億円**)

市民1人当たり
が納めた市税
106,823円のうち
約14,427円が
使われました。

国民健康保険事業や介護保険事業、下水道事業などの収入を持って行う会計(特別会計)へ、一般会計から法律によって設けられた基準等に基づいて繰り出しました。
※後期高齢者広域連合への一部負担金についても性質上繰出金として扱っています。

◎特別会計への繰出金の推移

※平成27年度は、土地開発基金への繰出金を除いた額としています。
基金への繰出金は、P17積立金で推移を表示しています。



公債費

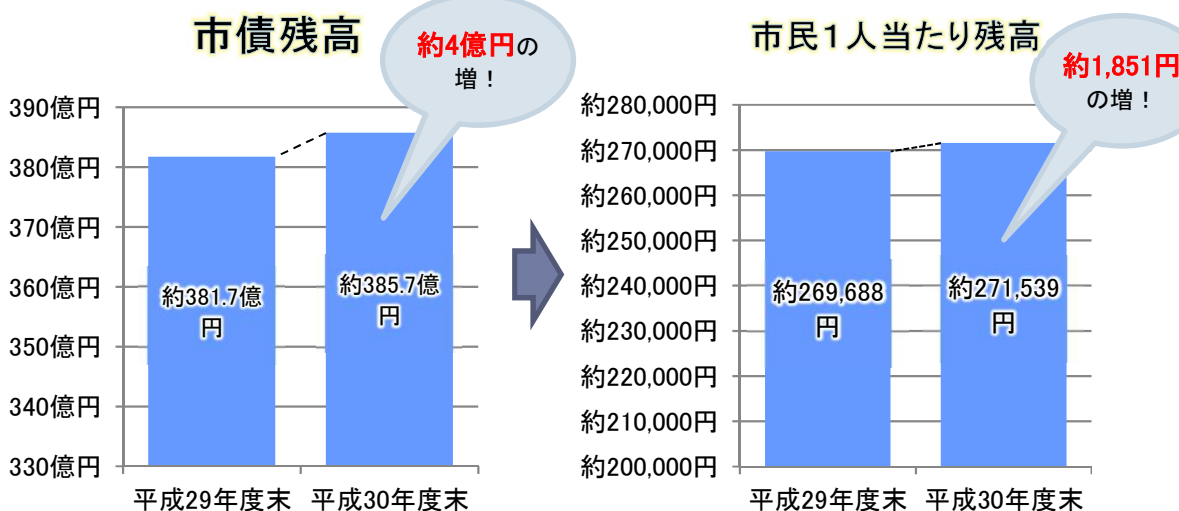
公債費は、市債の元金の返済と、利子の支払いにかかる経費です。

平成30年度は**約33.4億円**を支出しました。

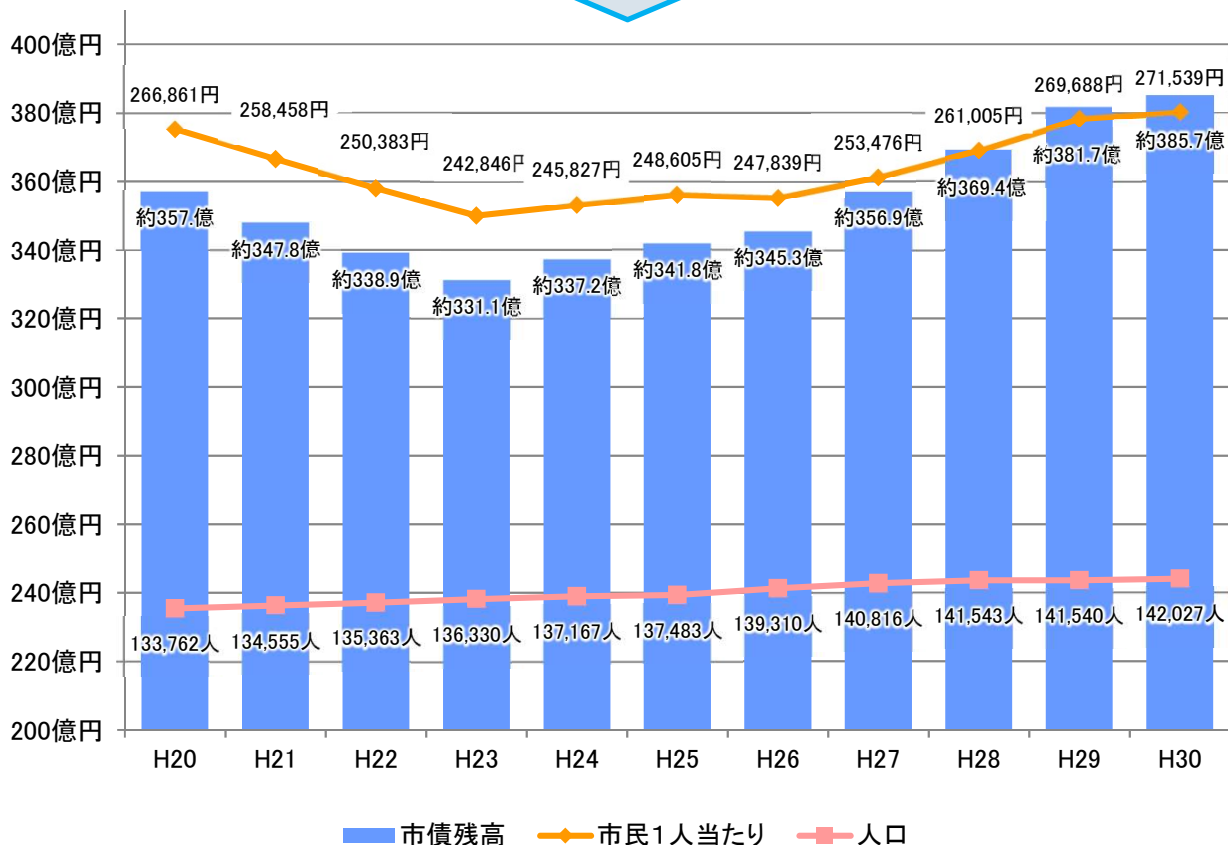
(金額のうち市税の占める割合：**約14.7億円**)

市債の元金を**約30.5億円**返済した一方で、新たに**約34.4億円**の借入れをした結果、市債残高が**約4.0億円**増え、市民1人当たりでも、**約1,851円**増えました。

市民1人当たり
が納めた市税
106,823円のうち
約10,369円が
使われました。



市債の残高推移を見てみると次のようになります。



積立金

積立金は、将来の財源不足に備えるための積立てにかかる経費です。

平成30年度は**約11.5億円**を支出しました。

(金額のうち市税の占める割合：**約4.8億円**)

基金へ**約11.5億円**の積み立てをした一方で、**約19.6億円**を取り崩した結果、基金の残高が**約8.1億円減少**しました。

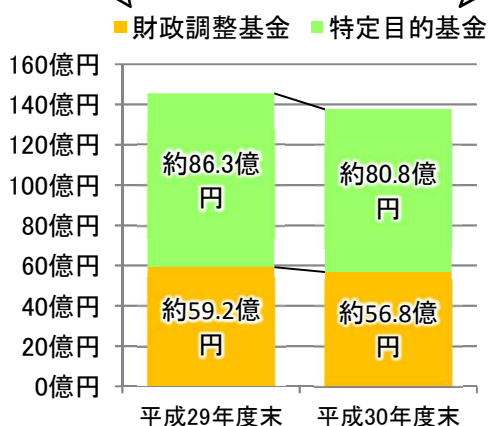
市民1人当たりが納めた市税106,823円のうち約3,405円が使われました。

経済事業の変動等で財源が不足する場合などに備えて、決算剰余金等を積み立てています。

市債の償還や公共施設の整備、退職者手当への対応等、将来の特定の目的で使うための財源として積み立てています。

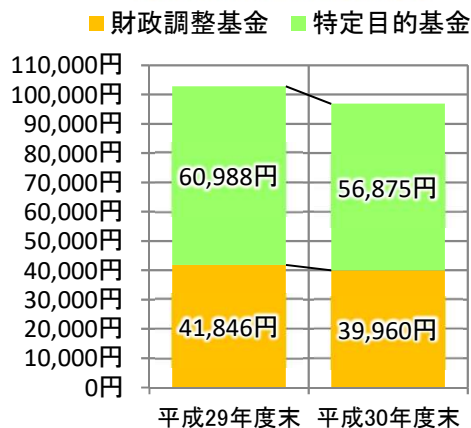
市民1人当たりでは、**約8,117円**を積み立て、**約13,764円**取り崩したことになります。

基金残高



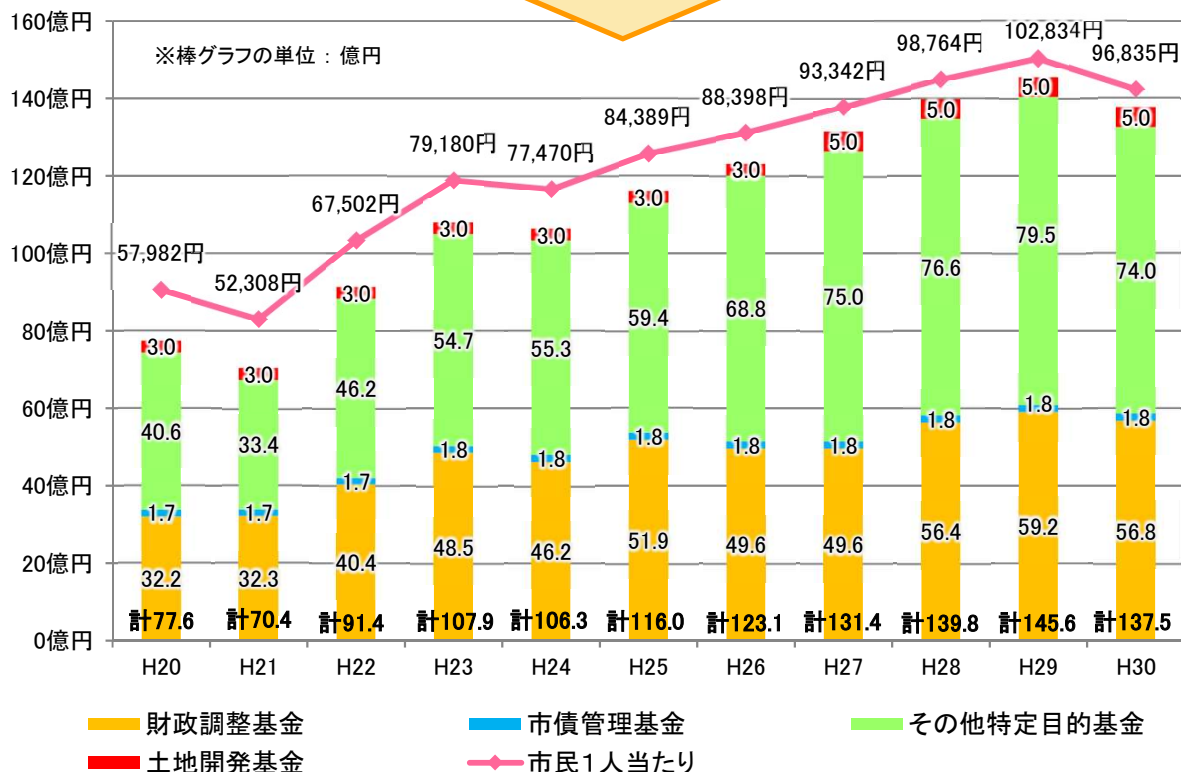
※四捨五入の関係上、合計額が一致しない場合があります。

市民1人当たり残高



※平成29年度末人口：141,540人(平成30年4月1日時点)
※平成30年度末人口：142,027人(平成31年4月1日時点)

基金の残高推移を見てみると次のようになります。



※四捨五入の関係上、合計額が一致しない場合があります。

IV 特集 ～沖縄振興特別推進市町村交付金について～

これまでの沖縄振興については、社会資本の整備などで成果をあげたものの、県民所得の向上や雇用の確保など克服すべき沖縄の固有課題が依然として残されています。

それらの課題解決に向けて、沖縄振興特別措置法が改正され、新たに地域の自主的な選択による自由度の高い交付金として、通称「一括交付金」と呼ばれる、沖縄振興特別推進市町村交付金が創設されました。

沖縄市においては、平成30年度は沖縄市の振興や課題解決に向けて5つの分野で13パッケージ、43事業に活用し、約20億2,432万円が交付されました。

※各金額は、平成30年度内完了事業分と平成29年度繰越事業（平成30年度支払分）との合計となっております。

観光の振興

※交付対象事業費合計：約6億2,654万円
交付金額合計：約5億124万円



①コザ文化を活かした観光振興プロジェクト

交付対象事業費：約4億2,310万円（交付金額：約3億3,849万円）

魅力あふれる観光地づくりを目指すため、伝統文化と異文化の融合により創出した「コザ文化」および貴重な伝統文化や地域資源等を活用するとともに、エイサーのまち宣言をおこなった本市において、エイサーの振興に向けた取り組みや観光メニューの創出などの支援をおこなう。

②スポーツコンベンション推進プロジェクト

交付対象事業費：約9,837万円（交付金額：約7,870万円）



スポーツコンベンションシティを推進し観光の振興を図るため、スポーツ合宿の誘致に取り組むとともに、モータースポーツ及びプロスポーツ等団体のPRやイベントの開催などに取り組む。

③観光都市基盤整備事業

交付対象事業費：約1億326万円（交付金額：約8,261万円）



特色あるデザインを施した道路照明の設置や道路沿線の緑化など、観光地へのアクセス道路を整備し、観光都市の形成に資する歩行空間づくりを推進する。

④郷土資料整備事業

交付対象事業費：約181万円（交付金額：約144万円）



沖縄の歴史や文化に関する郷土資料を収集し、本市の伝統文化と異文化が融合した特徴的なコザ文化をはじめとする地域文化を学ぶ環境づくりに取り組む。

※各金額は、平成30年度内完了事業分と平成29年度繰越事業（平成30年度支払分）との合計となっております。

こどものまち推進

※交付対象事業費合計：約15億7,459万円
交付金額合計：約12億5,968万円

⑤未来を創る人材育成事業

交付対象事業費：約7億3,424万円（交付金額：約5億8,739万円）



児童生徒の学力の向上および青少年の健全育成等を図るとともに、発達の気になる子への支援や不登校対策をおこない、こどもたちの可能性を育み、本市及び沖縄県の未来をつくる人材としての育成に取り組む。

⑥沖縄こどもの国施設整備事業

交付対象事業費：約7億8,927万円（交付金額：約6億3,142万円）



沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国において、施設の魅力を高め、県内外の来園者を増加させることにより、こどもの文化創造活動の支援及び親子のふれあい余暇の充実を図る。

⑦沖縄こどもの国推進事業

交付対象事業費：約5,108万円（交付金額：約4,087万円）



沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の誘客促進のため、デジタルサイネージコンテンツの制作及びマーケティングをおこなう。

安全・安心なまちづくり

※交付対象事業費合計：約7,380万円
交付金額合計：約5,904万円

⑧災害に強いまちづくり事業

交付対象事業費：約7,380万円（交付金額：約5,904万円）



台風や地震、津波等の災害から市民等の安全を確保するため、多様な防災情報の提供を図るとともに、自主防災組織の結成促進や災害用備蓄の確保などおこなう。

また、海拔の低い地域からの緊急避難道路の整備や地域への防災・安全意識啓発、救命処置の普及活動等に取り組む。

※各金額は、平成30年度内完了事業分と平成29年度繰越事業（平成30年度支払分）との合計となっております。

産業の振興

※交付対象事業費合計：約5,895万円
交付金額合計：約4,717万円

⑨沖縄市きめ細かな就労支援事業

交付対象事業費：約3,916万円（交付金額：約3,133万円）



雇用の対策を図るため、若年求職者等を対象とした就労支援や各種講座等の充実、技術力の向上や能力開発等につながる人材育成に取り組む。

⑩東部海浜地区開発事業

交付対象事業費：約1,979万円（交付金額：約1,584万円）



東部海浜開発地区景観基本方針検討調査に取り組むとともに、イベント等を活用したPR業務をおこなう。また、東部海浜開発事業を推進するため、東部地域と連携し、地域活性化を推進する業務をおこなう。

その他の特殊事情

※交付対象事業費合計：約1億9,652万円
交付金額合計：約1億5,721万円

⑪里道および水路の境界確定復元事業

交付対象事業費：約1億7,323万円（交付金額：約1億3,858万円）



戦後の米軍統治下の影響による不明確な里道および水路の位置を確定し、健全な土地利用を図るため、境界の確定測量および復元作業をおこなう。

⑫平和推進事業

交付対象事業費：約1,989万円（交付金額：約1,591万円）



沖縄戦の体験や教訓を次世代へ継承するため、平和行政の取り組みを発信する。

⑬自然学習普及事業

交付対象事業費：約340万円（交付金額：約272万円）



市民が沖縄の自然を学べる環境を整備し、自然の環境保全への理解を深める取り組みをおこなう。

V データ編

平成31年4月1日現在の人口 142,027人

1 沖縄市の会計別決算額

(単位:万円)

	会計名	歳入額	歳出額	差引額(ア)	繰越財源(イ)	実質収支(アーイ) (剰余金)
1	一般会計	7,018,601	6,793,405	225,196	65,362	159,834
2	土地区画整理事業特別会計	39,885	39,288	597	363	234
3	下水道事業特別会計	252,476	239,490	12,986	6,267	6,719
4	国民健康保険事業特別会計	1,642,930	1,601,787	41,143	0	41,143
5	介護保険事業特別会計	982,825	949,295	33,530	0	33,530
6	後期高齢者医療事業特別会計	141,618	140,463	1,155	0	1,155
	合 計	10,078,335	9,763,728	314,607	71,992	242,615

2 一般会計の歳入決算額

(単位:万円、%)

	区 分	収入済額	構成比	前年度収入額	増減比率	市民一人あたり
1	市税	1,517,178	21.6%	1,491,661	101.7%	106,823円
2	地方譲与税	27,191	0.4%	26,725	101.7%	1,915円
3	利子割交付金	1,109	0.0%	1,358	81.7%	78円
4	配当割交付金	1,840	0.0%	2,753	66.8%	130円
5	株式等譲渡所得割交付金	1,591	0.0%	3,062	52.0%	112円
6	地方消費税交付金	231,320	3.3%	210,092	110.1%	16,287円
7	自動車取得税交付金	7,891	0.1%	6,962	113.3%	556円
8	国有提供施設等所在市町村助成交付金	136,608	2.0%	136,508	100.1%	9,619円
9	地方特例交付金	6,505	0.1%	4,803	135.4%	458円
10	地方交付税	1,080,985	15.4%	1,123,388	96.2%	76,111円
11	交通安全対策特別交付金	1,756	0.0%	1,933	90.8%	124円
12	分担金及び負担金	69,711	1.0%	62,149	112.2%	4,908円
13	使用料及び手数料	82,609	1.2%	78,989	104.6%	5,816円
14	国庫支出金	2,086,176	29.7%	2,078,320	100.4%	146,886円
15	県支出金	806,565	11.5%	796,920	101.2%	56,790円
16	財産収入	128,000	1.8%	126,133	101.5%	9,012円
17	寄附金	2,456	0.1%	2,990	82.1%	173円
18	繰入金	208,430	3.0%	100,132	208.2%	14,675円
19	繰越金	182,807	2.6%	291,195	62.8%	12,871円
20	諸収入	48,790	0.7%	50,454	96.7%	3,435円
21	市債	389,083	5.5%	398,607	97.6%	27,395円
	合 計	7,018,601	100.0%	6,995,134	100.3%	494,174円

3 一般会計の目的別歳出決算額

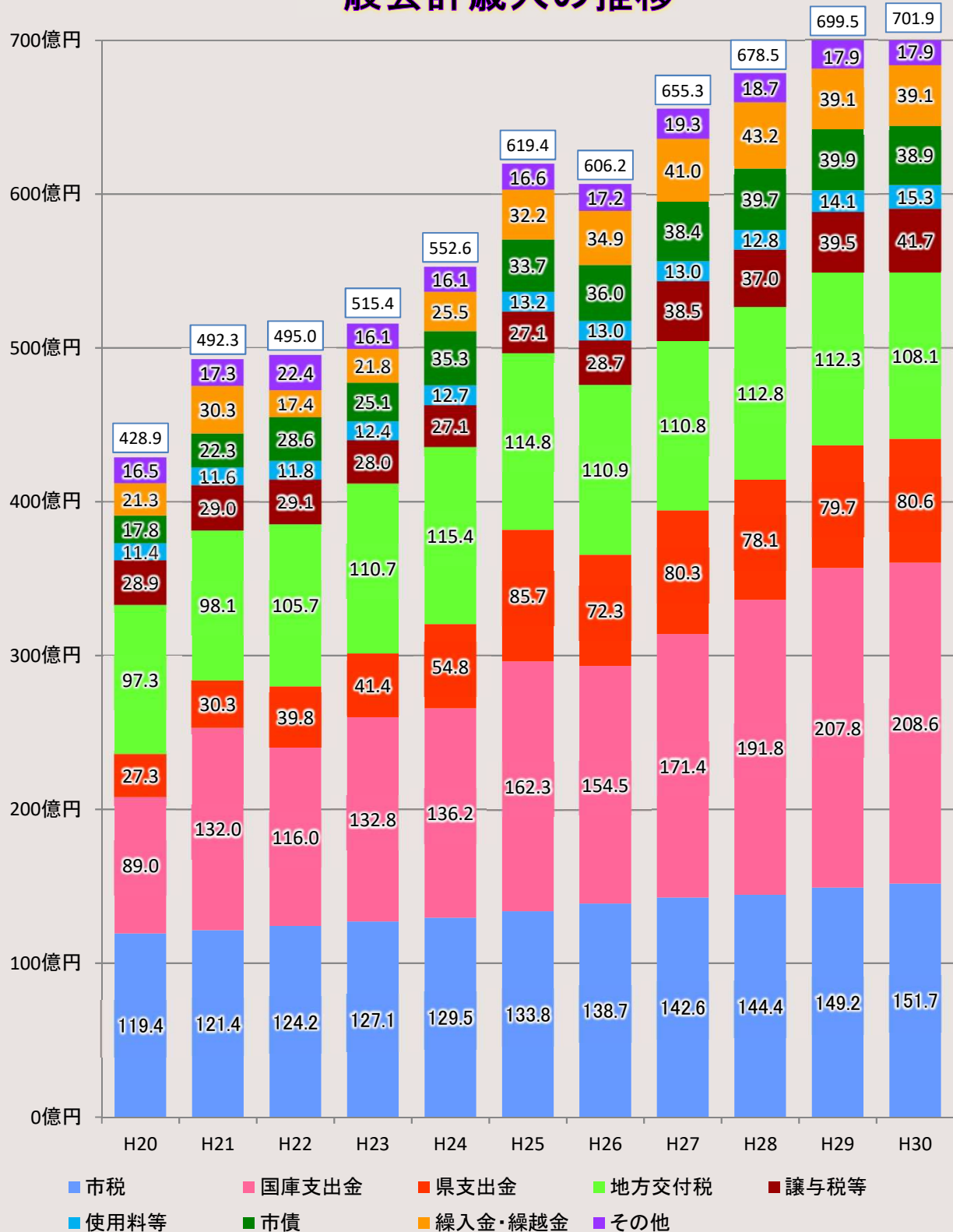
(単位:万円、%)

	区 分	支出額	構成比	前年度支出額	増減比率	市民一人あたり
1	議会費	36,016	0.5%	37,237	96.7%	2,536円
2	総務費	549,329	8.1%	569,290	96.5%	38,678円
3	民生費	3,622,560	53.3%	3,577,614	101.3%	255,061円
4	衛生費	349,946	5.2%	330,301	105.9%	24,639円
5	労働費	11,165	0.2%	12,128	92.1%	786円
6	農林水産費	38,415	0.6%	34,736	110.6%	2,705円
7	商工費	321,583	4.7%	237,103	135.6%	22,642円
8	土木費	512,811	7.5%	666,725	76.9%	36,107円
9	消防費	113,939	1.7%	102,000	111.7%	8,022円
10	教育費	904,083	13.3%	937,264	96.5%	63,656円
11	災害復旧費	0	0.0%	0	—	0円
12	公債費	333,558	4.9%	307,928	108.3%	23,486円
13	諸支出金	0	0.0%	0	—	0円
14	予備費	0	0.0%	0	—	0円
	合 計	6,793,405	100.0%	6,812,326	99.7%	478,318円



歳入の推移を見ると、10年前と比較して**約273億円**の増となっています。主な内訳としては、国庫支出金が約119.6億円の増、県支出金が約53.3億円の増、市税が約32.3億円の増、市債が約21.1億円の増となっています。

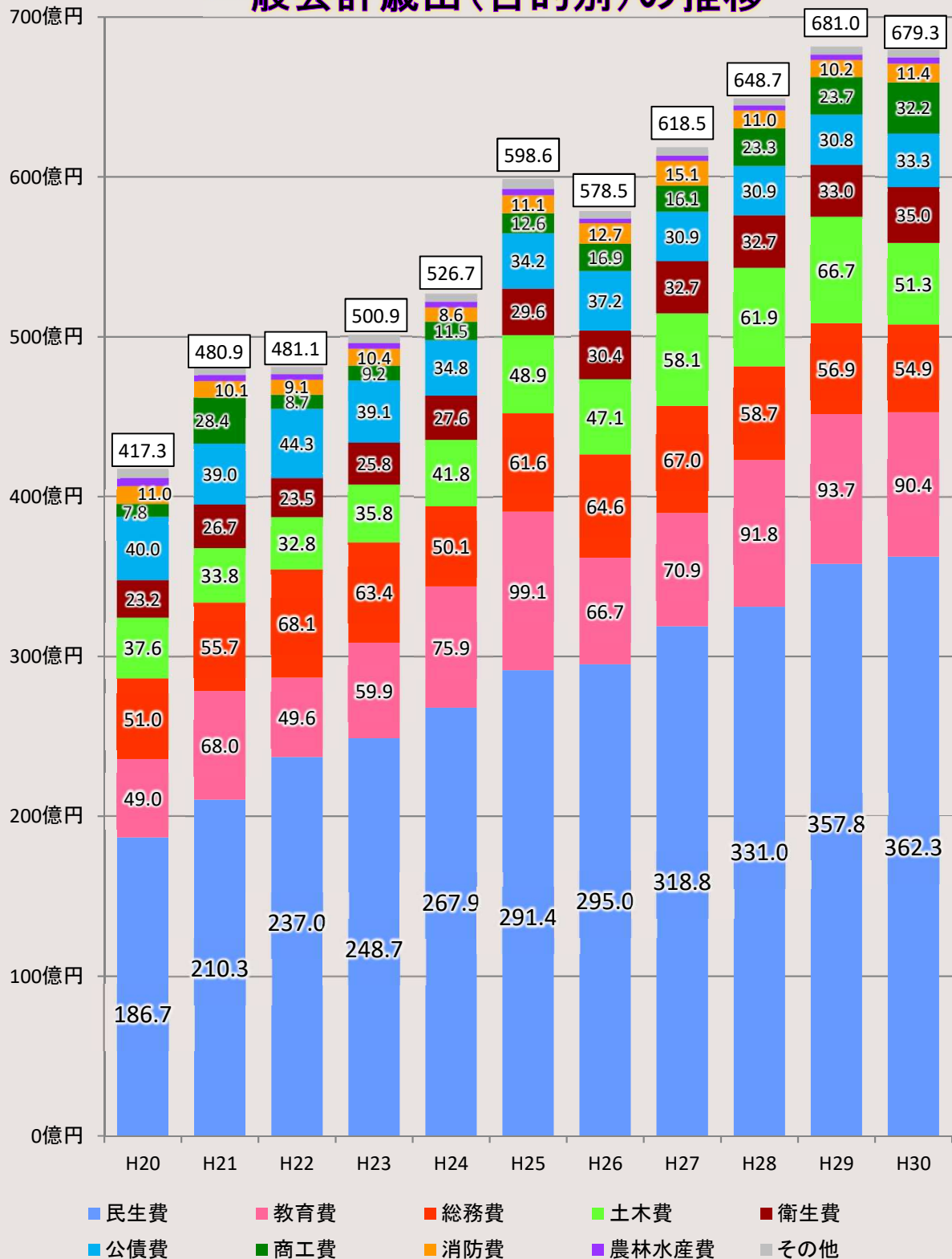
一般会計歳入の推移



歳出(目的別)の推移では、10年前と比較して**約262億円の増**となっています。主な内訳としては、民生費が約175.6億円の増、教育費が約41.4億円の増、商工費が約24.4億円の増、土木費が約13.7億円の増となっており、公債費が約6.7億円の減となっています。



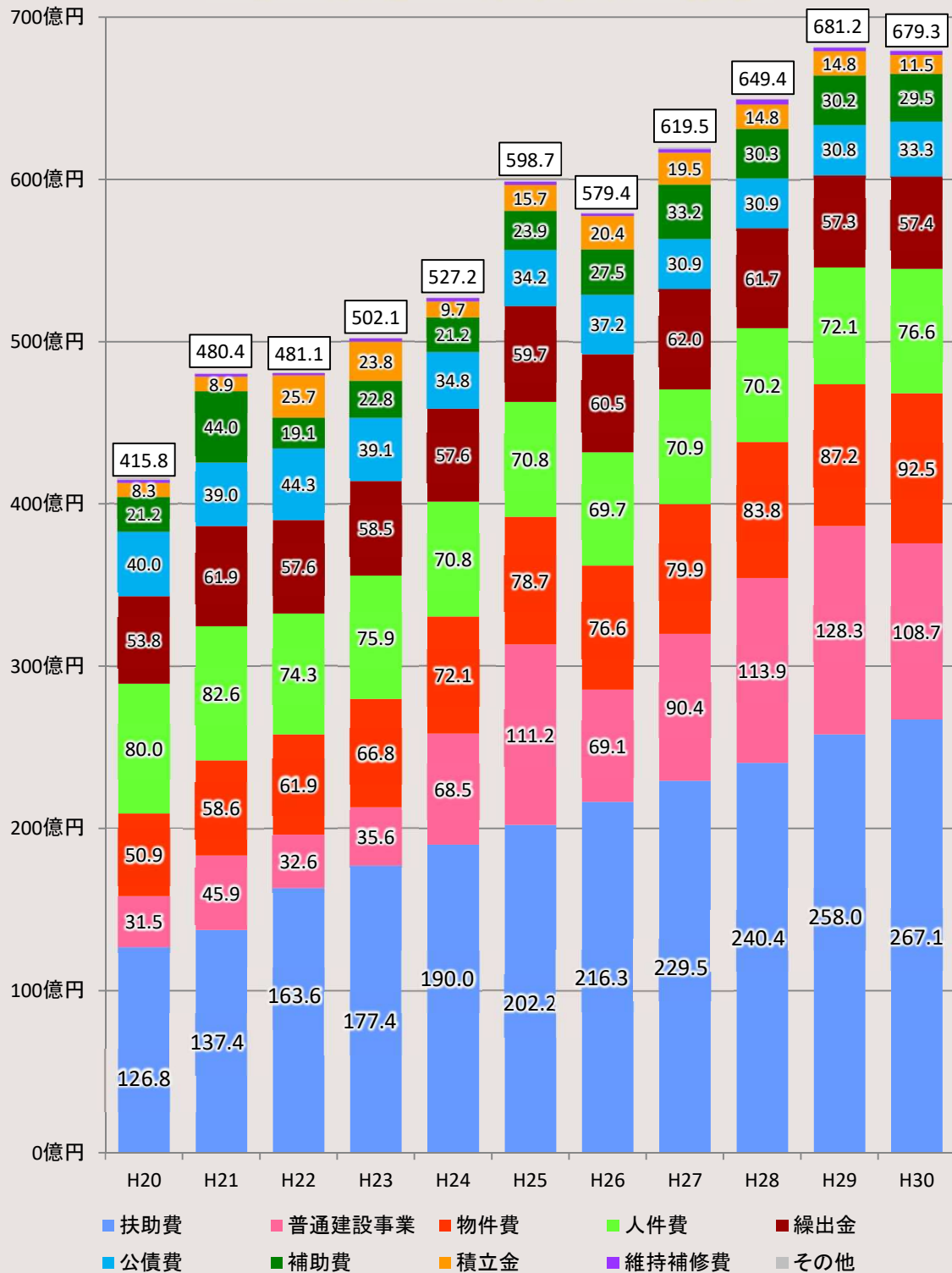
一般会計歳出(目的別)の推移

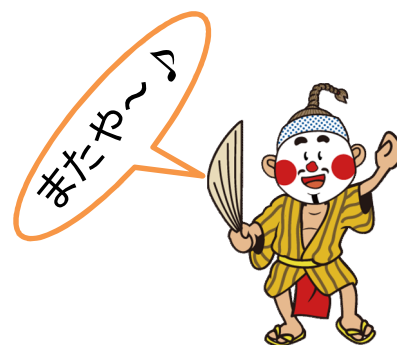




こちらのグラフは、歳出(性質別)の推移です。
 主な内訳としては、10年前と比較して、扶助費が約140.3億円の増、普通建設事業が約77.2億円の増、物件費が約41.6億円の増となっており、人件費が約3.4億円の減、公債費が約6.7億円の減となっています。

一般会計歳出(性質別)の推移





沖縄市の市税の使いみち

発行：沖縄市企画部財政課

〒904-8501 沖縄市仲宗根町26番1号

TEL：098-939-1212

FAX：098-934-3830

URL：<http://www.city.okinawa.okinawa.jp>